

2011年前回のワールドカップWCで世界1位ニュージーランド代表チームのオールブラックスに17対145で大敗し3敗1分で終わったラグビー日本代表チーム。新しいエディージョーンズコーチのもと、2015年WCでは世界3位南アフリカ代表チームのスプリングボクスに勝利し世紀の大番狂わせを起こし、3勝1敗の成績を残しました。エディーコーチは世界の強豪国の前で萎縮しないこと（気持ちで負けない）、徹底的に細微に至る準備をすること、画一的ではない個人の性格にあったコーチングをすること、そして100%ではなく120%の努力を要求すること（ハードワーク）でWCでの大成功を成し遂げました。またエディーコーチ自身も結果を出さなければ世界から認められないため、プロコーチのプライドと自身の人生をかけて日本代表をコーチングして結果を出しました。まさに大事業でした。私自身も40年間ラグビーを見てきましたが日本代表が南アフリカ代表に勝つなど絶対に有り得ないことですし、体力で劣り、スピードで劣り、さらに野獣のような外国人チームに日本チームが勝つなど100%想像できませんでした。まさに奇跡の瞬間でした。エディーコーチは奇跡を起こす最高の剛腕コーチだったのです。

自分の子供の受験準備期間を振り返ると、受験勉強はしなくてはならないし（7月W模擬 偏差値53）、内申点を取る為に高1の勉強はしなくてはならないし（中高一貫校のためカリキュラムが公立より速い）、かなり困難な状況だったような気がします。親としては、9月ごろのW模擬で結果が出なければ小山台高校は諦めると山根先生にもお話ししていました。ここからが山根先生の真骨頂だったようです。知識、指導技術、メンタルケアを駆使して、まるでエディーコーチのように頂点へ連れて行ってくれました。

フレンズアップの山根代表をはじめ、鈴木先生、鳥海先生、小林先生、原田先生と素晴らしいスタッフを揃え、緩みのない計画を立案そして実行そして成功と導いて下さいました。当然本人の努力も鬼気迫るものがあり、体を壊さないかだけが心配でした。本人の強い想いと素晴らしいコーチングスタッフが揃えば奇跡は起こると体現した次第です。

そう山根先生は最高の剛腕コーチだったんですね！